

バス運行時の置き去り事故防止に対する取り組み

川口文化幼稚園での、園児バス置き去り事故防止に対する取り組みを紹介します。

1. チェックシートを毎日作成し、園児の所在を記録、確認
 - (1) バスの出発前までに、園児の出欠席、その他補足の情報をチェックシートに記入します。
このチェックシートは各バス、コースごとに作成しています。
 - (2) 園児が乗車したら、チェックシートに乗車状況を記録します。
このほか、バス運行中に欠席等の連絡があった際も、このチェックシートに記録します。
 - (3) 下車前にバスの中で点呼を取り、園児の所在確認を行います。
 - (4) 園児の下車後は、バス乗務の教職員とバスドライバーの2名が、別々に車内を点検し、バス車内に取り残された園児がないことを点検します(二重チェックを実施)。

メロン()コース		令和 年 月 日()			
ドア	先生	< 添乗職員 >			
	午前 ()名	運転席			
	午後 ()名	朝	帰	朝	帰
園児名		朝	帰	朝	帰
休学		朝	帰	朝	帰
園児名		朝	帰	朝	帰
休み		朝	帰	朝	帰

チェックシートの例(各バス、コースごとに作成)

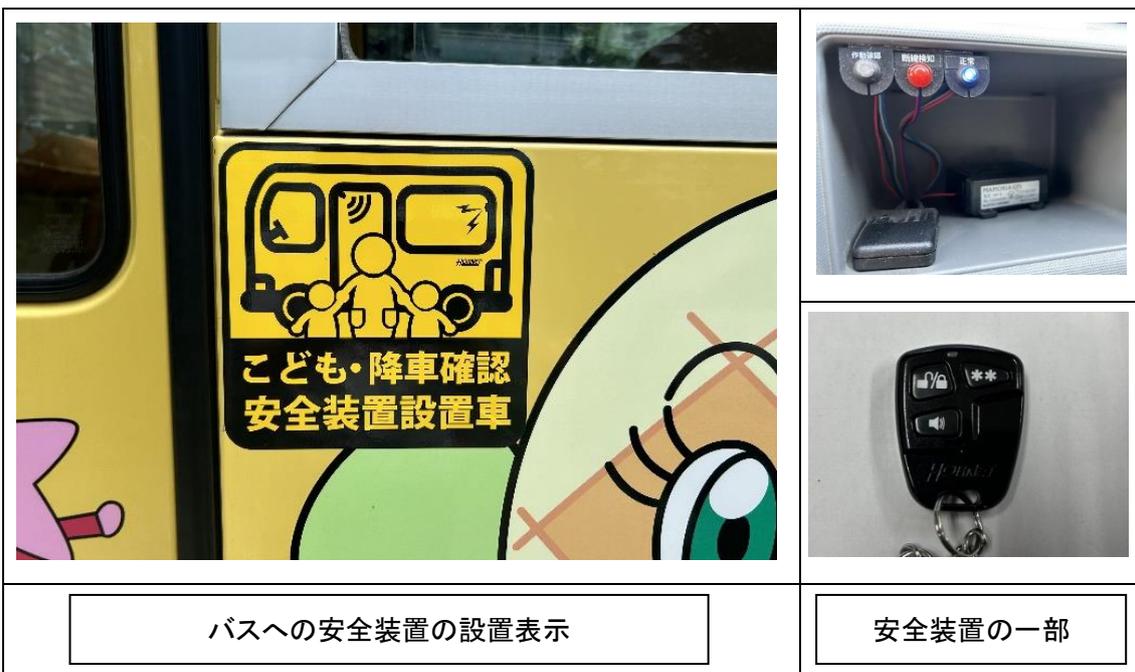
2. 全バスに「置き去り防止装置」を設置

バスの置き去り防止装置について、仕組みを紹介します。

- (1) 園児の降車後、バスのエンジンを停止すると、中音量の車内ブザー音が鳴動します。
- (2) ブザーを停止するには、車内後方のスイッチまで移動し、ボタンを押す必要があります。

スイッチを5分以上操作しない場合、車外のアラームが大音量で鳴動します。

本装置の機能により、全座席の見回りが行え、万が一取り残された園児がいた場合も確実に発見することが可能です。



- (3) 安全装置にはセンサー、カメラが組み込まれています。
万が一車内に園児が残されてしまった場合でも、車内の人の「動き」や「音」を検知し、大音量の車外アラームを鳴らす機能を有しています。



3. 教職員間の情報の共有

- (1) 保護者からの園児の欠席連絡などに関する情報については、「日々の園児チェックシート」に記載し、職員全員が共有できるようにしています。
- (2) バス乗務の際に安全上の危険を感じた場合は、朝礼・終礼などの機会を利用し、職員全体で共有できるよう努めています。

4. 安全管理マニュアルの策定

これらの取り組みは「幼稚園バスの安全管理」としてマニュアルを作成しております。

不備事項などがあつた際は、その都度見直しを行います。

皆様の大切なお子さまをお守りできるよう、今後も引き続き、安全を追及して参ります。